2019年度支部合同会議報告（9月28-29日開催）

事務局　山本憲一

例年通り、本部役員と全国33支部の支部長・事務局長及び高尾の森づくりの会代表が集まり、四ツ谷駅前のプラザエフで2日間に渡り開催された。

１．会長挨拶

会報「山」7月号でこれから何を目指してやっていくかを書かせていただいているが、花谷氏の20代中心メンバーによるヒマラヤキャンプ、ここのところは重篤な事故は起きていないが遭難対策、120周年に向けて山岳文化の伝承に力を入れていきたい。

２．会務報告

（1）支部助成事業経過報告（支部事業委員会／坂井副会長）

2019年度の特別事業補助金審査結果について報告

8支部から103万円の申請があったが、67万円の補助金支給を決定した。

（2）登山教室指導者養成講習会の報告と計画（支部事業委員会／坂井副会長）

昨年度は2019年2月16-17日に受講生17名、講師・スタッフ6名で実施した。

今年度の講習会は、2020年2月1-2日に開催予定。参加費は1万円程度。

（3）「山の天気ライブ授業」について（支部事業委員会／坂井副会長）

120 周年記念事業の一環として安全登山のための知識や技術の習得を目的に開催する山の天気講座。

全国の支部を対象に、ヤマテンの気象予報士（主に猪熊氏）が講師を務める。

今年度は神奈川支部が2020年2月29日-3月1日（土・日）に開催する。

以降の実施可能日程：7月4-5日、11－12日、8月1-2日、22-23日、29-30日 9月5-6日、9月12-13日、10月3-4日、24-25日、31-1日、11月28-29日、12月12-13日、26-27日

（4）登山計画書提出状況と事故事例について（遭難対策委員会／山本副会長）

計画書は山の大きい小さい、近い遠いとかは関係なく、個人山行を含む全ての山行の計画書を出すようにしてほしい。

会員の事故に関する情報が把握されていない。内閣府からの問合せもあるので、滑落をして怪我をしたとか、メンバー以外の人に救助された等があった時は報告してほしい。

（5）「山の日」事業委員会報告（「山の日」事業委員会／成川委員長）

「山の日マガジン2018」を5万部印刷し、無料配布した。

東九州支部加藤支部長が「『山の日登山』ふるさとの山を登ろうin 中津・八面山」の事業について報告

（6）自然保護委員会報告（自然保護委員会／谷内委員長）

本年度の年次晩餐会の展示コーナーにおいて自然保護委員会のこれまでの歩み

や各支部の活動の様子を紹介し、自然保護活動への一層の理解を深めてもらいたいと考えている。各支部から活動内容、写真の提供をもとめる。

(7) 準会員制度について（準会員制度検証 PT／佐野委員長）

野口支部長が準会員制度検証 PT に出席しているため報告は割愛する。

(8) 公益法人について（公益法人運営委員会／佐野委員長）

日本山岳会は公益社団法人である。

日本山岳会の公益目的事業は、①登山振興事業、②山岳研究調査事業、③山岳環境保全事業の 3 項目を届け出ている。

公益社団法人の特典として①不動産に対する非課税、②寄付に対する税額控除、③紺綬褒章の推薦団体の認定取得がある。

(9) 会計報告書と寄付の取り扱いについて（古川常務理事）

支部会計報告書の作成方法と留意点

寄付金等の取り扱いについて

これまでと大きく変わりはなく、配布資料を担当の財務委員会に送付した。

(10) 全国の「古道踏査」事業について（記念事業委員会／永田常務理事）

120 周年記念事業委員会では、120 周年を記念していまは忘れられた山の古道を歩き、将来に記す計画を立てた。

日本の古道としては、熊野古道、山辺の道、塩の道などが有名であるが、全国の山々には生活の物資を運んだ道、信仰の道、軍事的・政治的な道など様々な道があり、日本山岳会では既に調査された古道を「見える化」するとともに、調査されていない道については踏査発掘し、道に重層化した歴史や文化を掘り起こして発表する「日本列島古道踏査（仮）」事業を行う。

期間：2020 年 4 月～2025 年 3 月（報告書作成機関を含む）

対象：①全国の山道、②文化がある山道、③経済的利用の山道

古道の例：（関東）江戸巡礼古道、三峯参拝古道、足柄古道、信玄道など

(11) 会員名簿について（総務委員会／奥田委員）

支部で名簿を作成・配布する場合は、本人から直接同意を得て、利用範囲と管理・保管方法を明らかにすることが求められる。

故意に名簿を流さないように支部会員に対し、日ごろより名簿の取り扱いについて研修を実施する。また、支部長をはじめ、会員が名簿を公共の場所に放置したりすることのないように相互に気を付ける。

電子媒体で送受信する等の行為を行わない。エクセル、ワード等で行う場合はパスワードを必ずかけ、定期的に変更する。

(12) 記念事業委員会報告（記念事業委員会／重廣委員長）

① ヒマラヤキャンプ 2020

花谷氏の個人プロジェクトとして 2015 年から始まった若手登山家養成プロジ

ェクトであるヒマラヤキャンプを日本山岳会として初めてプロジェクトを2020年春のネパールで開催する。9月23日募集開始、15人参加。

② グレート・ヒマラヤ・トラバース企画

先般NHKで放映されたヒマラヤ・トレースとは違うものである。

目的：①ヒマラヤ地域の変遷調査（初登頂時代との比較と環境変化）、②探検的ヒマラヤ登山による未踏峰・未踏ルート登山、③夢を描き・計画を作り・実行するチャレンジ精神を、5000ｋｍにも及ぶ長大なヒマラヤ山脈横断という踏査を通じて次の時代に伝承する。

第1期（2020年春～2022年秋）

カンチェンジュンガ～マカル―～エベレスト～マナスル～アンナプルナ～ダウラギリの近隣を通過するグレート・ヒマラヤ・トレール（ネパール最東端～最西端）のハイ・ルート完全踏査及び未踏峰登頂

③ 世界第3位の高峰・カンチェンジュンガ大展望トレッキング15日間

2019年10月26日～11月8日実施。

④ 日本山岳会エベレスト登頂50周年について

2020年5月1日～6月10日に兵庫県豊岡市日高町の上村直己冒険館でエベレスト登頂50周年展示、記念フォーラム、子供たちとの交流登山等の企画あり。

⑤ 機関紙、登山報告書資料、映像資料などのデジタル化

デジタルメディア委員会からの提案でJACが所蔵しているヒマラヤ登山映像のDVD化、JACメンバーの個人・団体が実施したヒマラヤ登山映像のDVD化、ヒマラヤ登山以外の山岳・登山に関する優れた映像の収集と管理・利用方法の確立

⑥ 日本・エクアドル外交関係樹立100周年記念友好合同登山隊報告

2019年9月1日～9月14日実施。

（13） 家族登山の全国ネットワーク構築のお願い（家族登山普及委員会／野沢副会長）

親子登山という広い年代、次世代を担う子供たちの登山に対し、日本山岳会ならではの全国ネットワークを構築し普及していく。

支部の担当者を決めて、ネットワーク構築の窓口となってほしい。

（14） 支部アドレスを利用したネットワークについて（DM委員会／大塚委員長）

支部アドレス（東京多摩支部＝ttm@jac.or.jp）を利用したメールの送受信のメリット、デメリットについて説明。

（15） 旅行業法について（黒川監事）

一般の登山者の事故を防止するためには、我々が講習会を積極的に行う事が必要である。旅行業とみなされる要件は、①報酬制、②事業性、③旅行業務の取り扱いの3つで、これら全てを満たさなければ旅行業とはみなされない。

（16） 年次晩餐会について

12 月 7 日開催する。会費は 1,000 円値上げして 16,000 円とする。
自然保護委員会の活動展示、アルパインフォトクラブの写真展示、図書交換会を行う。記念山行は三ッ峠山。

（17） 2020 年度全国支部懇談会の開催について（宮崎支部）
～神話と太陽の国　宮崎へどうぞ～
期日：2020 年 5 月 16～17 日（土・日）
宿泊：宮崎市青島　ANA ホリデイ・インリゾート宮崎
定員：150 名　　参加費用：20,000 円　　登山：双石山（ぼろいし山 509m）

（18） テント盗難事件
今年の夏、立山雷鳥沢と劔沢でテント一式及び残しておいた用具が無くなる事件が起きている。警察も事件として調べているが、気を付けてほしい。

３．質疑応答

Q）特別事業補助金が一事業に関して 3 年間と限られているが、長期・継続的な事業を実施している場合、3 年に限られると資金に窮し困っている。

A）今後の検討課題とする。

Q）準会員が入会した場合、該当支部に対して個人情報を提供してほしい。

A）要望があれば事務局から情報提供する。

Q）登山道荒れてきている。支部では独自に登山道整備を行っているが、高齢化が進み、間に合わない現状である。
各支部からも同様の話があり、町との共同事業、山岳団体との共同事業等での登山どう整備の話があった。

A）日本山岳会全体として検討したい。

Q）登山計画書の提出について全ての山行をださなければならないのか。

A）どこで線を引くか線引きが難しいので全ての山行計画書をだしてほしい。

Q）ヒマラヤキャンプに参加する若い人たちが日本山岳会に残るのか疑問。残れるような手だてをとれる仕組みを作ってほしい。

A）日本山岳会の会員になってもらうことを条件にする。一定の参加費用を負担してもらう。現役で回数を重ねてほしいと考えている。

Q）山に関する情報提供として SNS による発信が増えているが、日本山岳会はどのように対応しているのか。

A）既に、フェイスブック、インスタグラム、ツイッターの活用をしている。募集情報を SNS で情報提供し、本部の HP につなげるようにしている。

以上